ネットワークサービス

利用できるネットワークサービス

- FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。

サービス名	申し込み	月額使用料	サービス名	申し込み	月額使用料
留守番電話サービス	必要	有料	**デュアルネットワークサービス**	必要	有料
キャッチホン	必要	有料	**英語ガイダンス**	不要	無料
転送でんわサービス	必要	無料	**OFFICEED**	必要	有料
迷惑電話ストップサービス	不要	無料	**公共モード（ドライブモード）**※1	不要	無料
番号通知お願いサービス	不要	無料	**公共モード（電源OFF）**※1	不要	無料
メロディコール※2	必要	有料			

※1　公共モード→p.71、p.72
※2　メロディコール→p.114

- サービスエリア外や電波の届かない場所ではネットワークサービスはご利用できません。
- お申し込み、お問い合わせについては取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- 「OFFICEED」はお申し込みが必要なサービスです。ご不明な点はドコモの法人向けホームページ（http://www.docomo.biz/d/212/）をご確認ください。
- **本書では、各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。**

留守番電話サービス

電波の届かない所にいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答しなかったときなどに、音声電話またはテレビ電話をかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

- 伝言メモを同時に設定しているとき、留守番電話サービスを優先させるためには、伝言メモの呼出時間よりも留守番電話サービスの呼出時間を短く設定してください。
- 留守番電話サービスを開始に設定しているときに、かかってきた音声電話またはテレビ電話に応答しなかった場合は、着信履歴に不在着信として記録され、待受画面に新着情報（→p.27）と が表示されます。
- 留守番電話のテレビ電話対応設定について変更するには、「1412」へ音声電話をかけてください。
- テレビ電話で新しい伝言メッセージをお預かりしたときはSMSでお知らせします。

留守番電話サービスの基本的な流れ

ステップ1：サービスを開始に設定する
ステップ2：電話をかけてきた相手が伝言を録音する
ステップ3：伝言メッセージを再生する

1 待受画面でメニュー▶「#詳細な機能・設定」▶「1ネットワークサービスを使う」▶「1留守番サービスを使う」▶メニュー項目を選択▶決定を押し操作する

メニュー項目	機能と操作
1留守番メッセージを再生する	▶「1再生する」▶音声ガイダンスの指示に従って操作する • 新しい伝言メッセージがあると、待受画面に留守番（長押しが表示された後、留守番電話件数が増加した旨のメッセージが表示され、着信音（着信音1）が5回鳴ります。
2メッセージがあるか問合せる	▶「1問合せる」▶決定を押す • 新しい伝言メッセージがあると、待受画面に留守番（長押しが表示されます。
3留守番サービスを開始する	▶「1開始する」▶「1設定する」▶呼出時間を入力▶決定▶決定を押す
4留守番サービスを停止する	▶「1停止する」▶決定を押す
5留守番サービスの詳細を設定する	音声ガイダンスを聞きながら留守番電話サービスを設定します。 ▶「1設定する」▶音声ガイダンスの指示に従って操作する
6留守番呼出時間を設定する	▶「1設定する」▶呼出時間を入力▶決定▶決定を押す • 呼出時間を0秒に設定すると、着信履歴には記録されません。
7留守番サービスの設定を確認する	▶「1確認する」▶決定を押す • 設定確認画面で、サブメニューから設定を変更できます。
8着信通知を使う	
1着信通知を開始する	FOMA端末の電源が入っていないときや圏外にいるときに着信があった場合、電源が入ったときや圏内になったときに、着信があったことをSMSでお知らせします。 ▶「1開始する」▶「1発番号ありのみ」または「2全ての着信」▶決定を押す • 「1発番号ありのみ」：発信者番号通知の着信のみ通知します。 • 「2全ての着信」：すべての着信を通知します。
2着信通知を停止する	▶「1停止する」▶決定を押す
3着信通知の設定を確認する	▶「1確認する」▶決定を押す

キャッチホン

音声電話中に別の音声電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の音声電話を保留にして新しい音声電話に出ることができます。また、通話中の電話を保留にして、別の相手へ電話をかけることもできます。

- テレビ電話中や音声電話中にテレビ電話がかかってくると、キャッチホンは動作しませんが、着信履歴には不在着信として記録されます。

- キャッチホンを利用する場合は、あらかじめ通話中着信動作選択を「通常着信する」に設定してください。他の設定になっている場合は、キャッチホンを開始しても音声電話中にかかってきた音声電話に応答することはできません。
- 音声電話中にかかってきた別の音声電話に出るときは、次の操作を行います。
  - ：現在の通話を保留にし、かかってきた電話に応答します。
  - ：現在の通話が切断され、かかってきた電話の着信画面が表示されます。を押し電話に応答します。
- キャッチホン中は、を押すたびに通話相手を切り替えられます。

1 待受画面で ▶「#詳細な機能・設定」▶「1ネットワークサービスを使う」▶「2キャッチホンを使う」▶メニュー項目を選択▶決定を押し操作する

メニュー項目	機能と操作
1キャッチホンを開始する	▶「1開始する」▶決定を押す
2キャッチホンを停止する	▶「1停止する」▶決定を押す
3キャッチホンの設定を確認する	▶「1確認する」▶決定を押す

転送でんわサービス

電波の届かない所にいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答しなかったときなどに、かかってきた音声電話またはテレビ電話を転送するサービスです。

- 伝言メモを同時に設定しているとき、転送でんわサービスを優先させるためには、伝言メモの呼出時間よりも転送でんわサービスの呼出時間を短く設定してください。
- 転送でんわサービスを開始に設定しているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合は、着信履歴に不在着信として記録され、待受画面に新着情報（→p.27）とが表示されます。

転送でんわサービスの基本的な流れ

ステップ1：転送でんわサービスを開始に設定する
ステップ2：転送先の電話番号を登録する
ステップ3：お客様のFOMA端末に電話がかかる
ステップ4：電話に出ないと自動的に指定した転送先に転送される

1 待受画面で ▶「#詳細な機能・設定」▶「1ネットワークサービスを使う」▶「3転送サービスを使う」▶メニュー項目を選択▶決定を押し操作する

メニュー項目	機能と操作
1転送サービスを開始する	▶「1開始する」▶「1設定する」▶転送先電話番号を入力▶決定▶「1設定する」▶呼出時間を入力▶決定▶決定を押す • 電話番号入力画面でを押すと、電話帳や着信履歴、リダイヤルを引用できます。 • 呼出時間を0秒に設定すると、着信履歴には記録されません。
2転送サービスを停止する	▶「1停止する」▶決定を押す
3転送先を変更する	▶転送先電話番号を入力▶決定▶「1設定する」▶決定を押す • 電話番号入力画面でを押すと、電話帳や着信履歴、リダイヤルを引用できます。
4転送先が通話時の設定をする	転送先の電話が通話中などで転送できないときに、留守番電話サービスで応対するように設定します。 ▶「1接続する」▶決定を押す
5転送サービスの設定を確認する	▶「1確認する」▶決定を押す

転送ガイダンスの有／無を設定する

1 待受画面で 1あ 4た 2か 9ら ▶ ▶音声ガイダンスの指示に従って操作する

- 詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

迷惑電話ストップサービス

いたずら電話などの迷惑電話を着信しないように拒否するサービスです。着信拒否登録すると、以後の着信を自動的に拒否し、相手にはガイダンスで応答します。

- 着信拒否登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。着信履歴にも記録されません。

1 待受画面でメニュー▶「#詳細な機能・設定」▶「1ネットワークサービスを使う」▶「4迷惑電話ストップを使う」▶メニュー項目を選択▶決定を押し操作する

メニュー項目	機能と操作
1迷惑電話着信拒否を登録する	最後に応答した電話番号を着信拒否に登録します。 ▶「1登録する」▶決定を押す ・通話していない不在着信などは登録の対象になりません。
2着信拒否する番号を登録する	指定した電話番号を着信拒否に登録します。 ▶「1登録する」▶電話番号を入力▶決定▶「1登録する」▶決定を押す ・電話番号入力画面で電話帳を押すと、電話帳や着信履歴、リダイヤルを引用できます。
3迷惑電話登録を全件削除する	▶「1削除する」▶決定を押す
4迷惑電話登録を1件削除する	最後に登録した電話番号を1件削除します。同様の操作を繰り返し行うことにより、最後に登録した順より1件ずつ削除することができます。 ▶「1削除する」▶決定を押す
5拒否登録件数を確認する	▶「1確認する」▶決定を押す

番号通知お願いサービス

電話番号を通知してこない音声電話またはテレビ電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答し、自動的に電話を切るサービスです。

- 番号通知お願いサービスによって着信しなかった電話は、着信履歴に記録されず、待受画面に新着情報は表示されません。

1 待受画面でメニュー▶「#詳細な機能・設定」▶「1ネットワークサービスを使う」▶「5番号通知お願いサービスを使う」▶メニュー項目を選択▶決定を押し操作する

メニュー項目	機能と操作
1番号通知お願いサービスを開始する	▶「1開始する」▶決定を押す
2番号通知お願いサービスを停止する	▶「1停止する」▶決定を押す
3番号通知お願いサービスを確認する	▶「1確認する」▶決定を押す

デュアルネットワークサービス

お使いになっているFOMA端末の電話番号で、mova端末をご利用いただけるサービスです。FOMAとmovaのサービスエリアに応じた使い分けが可能です。

- FOMA端末とmova端末を同時に利用することはできません。
- デュアルネットワークサービスの切り替え操作は、利用不可状態の端末から切り替え操作を行ってください。

1 待受画面でメニュー▶「#詳細な機能・設定」▶「1ネットワークサービスを使う」▶「0その他のサービスを使う」▶「3デュアルネットワークを使う」▶メニュー項目を選択▶決定を押し操作する

メニュー項目	機能と操作
1デュアルネットワークを切替える	mova端末に切り替えていたデュアルネットワークサービスを、FOMA端末に切り替えます。 ▶「1切替える」▶4桁のネットワーク暗証番号を入力▶決定▶決定を押す
2デュアルネットワークの状態を確認する	▶「1確認する」▶決定を押す

英語ガイダンス

ガイダンスの日本語／英語切り替え

留守番電話サービスなどの各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、圏外などの音声ガイダンスを英語に設定することができます。

1 待受画面でメニュー▶「#詳細な機能・設定」▶「1ネットワークサービスを使う」▶「0その他のサービスを使う」▶「2英語ガイダンスを使う」▶メニュー項目を選択▶決定を押し操作する

メニュー項目	機能と操作
1ガイダンスを設定する	▶「1設定する」▶「1日本語」または「2英語」を押す • 発信時に自分が聞くガイダンスの言語を選択します。 ▶「1設定する」▶「1日本語」～「3英語＋日本語」のいずれかを押す▶決定を押す • 着信時に相手が聞くガイダンスの言語を選択します。「日本語＋英語」に設定すると日本語→英語の順に、「英語＋日本語」に設定すると英語→日本語の順にガイダンスが流れます。
2ガイダンスの設定を確認する	▶「1確認する」▶決定を押す

サービスダイヤル

ドコモ総合案内・受付や故障の問い合わせ先へ電話をかけることができます。

• お使いのFOMAカードによっては、表示や動作が異なる場合があります。→p.37

1 待受画面でメニュー▶「#詳細な機能・設定」▶「1ネットワークサービスを使う」▶「0その他のサービスを使う」▶「4サービスダイヤルを使う」▶メニュー項目を選択▶決定を押し操作する

メニュー項目	機能と操作
1ドコモ総合案内･受付に電話する	ドコモ総合案内・受付に電話をかけます。 ▶「1電話する」を押す
2ドコモ故障問合せ窓口に電話する	ドコモ指定の故障取扱窓口に電話をかけます。 ▶「1電話する」を押す
3海外紛失窓口に電話する（有料）※	海外で紛失、盗難、精算などについて問い合わせます。 ▶「1電話する」を押す
4海外故障窓口に電話する（有料）※	海外でドコモ指定の故障取扱窓口に電話をかけます。 ▶「1電話する」を押す

※ WORLD WINGをお申し込みいただいていない場合は使用できません。また、WORLD WINGに対応しているFOMAカード（青色以外）をFOMA端末に取り付けておく必要があります。

OFFICEED

「OFFICEED」は指定されたIMCS（屋内基地局設備）で提供されるグループ内定額サービスです。ご利用には別途お申し込みが必要となります。
詳細はドコモの法人向けホームページ（http://www.docomo.biz/d/212/）をご確認ください。

通話中着信設定

通話中着信動作（→p.386）の設定を開始／停止したり、設定内容を確認したりします。

1 **待受画面で メニュー ▶「#詳細な機能・設定」▶「1ネットワークサービスを使う」▶「7通話中着信設定を使う」▶メニュー項目を選択▶ 決定 を押し操作する**

メニュー項目	機能と操作
1通話中着信設定を開始する	▶「1開始する」▶ 決定 を押す
2通話中着信設定を停止する	▶「1停止する」▶ 決定 を押す
3通話中着信設定を確認する	▶「1確認する」▶ 決定 を押す

通話中着信動作選択

通話中にかかってきた電話の応対方法の選択

留守番電話サービス、転送でんわサービス、キャッチホンをご契約されているお客様の通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話、または64Kデータ通信にどのように対応するかを設定できます。

- 留守番電話サービス、転送でんわサービス、キャッチホンを契約されていない場合は、通話中にかかってきた着信に応答できません。
- 通話中着信動作選択を利用する場合は、あらかじめ通話中着信設定を開始に設定してください。

1 **待受画面で メニュー ▶「#詳細な機能・設定」▶「1ネットワークサービスを使う」▶「8通話中着信動作を選ぶ」▶メニュー項目を選択▶ 決定 を押す**

メニュー項目	機能と操作
1通常着信する	キャッチホンを開始に設定しているときは、キャッチホンが動作します。停止に設定しているときは、音声電話または64Kデータ通信を終了し、かかってきた音声電話に応答できます。また、音声電話中にかかってきた音声電話の対応をサブメニューから選択できます。→p.68
2留守番電話	通話中にかかってきた音声電話またはテレビ電話を、留守番電話サービスで応答します。
3電話を転送する	通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信を、あらかじめ登録している転送先に転送します。 • 64Kデータ通信中に64Kデータ通信を着信した場合は転送されません。
4電話を拒否する	通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信の着信を拒否します。

遠隔操作設定

留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。

- 海外で留守番電話サービスや転送でんわサービスを利用する場合は、あらかじめ遠隔操作設定を開始に設定する必要があります。

1 **待受画面で メニュー ▶「#詳細な機能・設定」▶「1ネットワークサービスを使う」▶「0その他のサービスを使う」▶「1遠隔操作設定を使う」▶メニュー項目を選択▶ 決定 を押し操作する**

メニュー項目	機能と操作
1遠隔操作を開始する	▶「1開始する」▶ 決定 を押す
2遠隔操作を停止する	▶「1停止する」▶ 決定 を押す
3遠隔操作の設定を確認する	▶「1確認する」▶ 決定 を押す